

飛鳥時代

592~710年



日本で最初の仏教文化

奈良時代

710~794年



西アジアの影響を受けた
国際色豊かな文化

平安時代

794~1185年



日本の風土、生活にあった文化

鎌倉時代
1185~1333年

素朴で力強い文化

室町時代
1336~1573年

武家と公家、禅宗が融合した文化

14世紀後半から15世紀前半

戦国時代
安土桃山時代

ヨーロッパの影響を受けて
成立した文化

豪華で盛大な文化

江戸時代
1603~1868年



上方（京都、大阪）を中心に経済力をつけた町人を担い手とする文化



江戸で庶民も担い手となった文化

桃山文化
飛鳥文化
鎌倉文化
国風文化
北山文化
東山文化
化政文化
天平文化
室町文化
南蛮文化
元禄文化

 <p>みろくぼさつぞう 弥勒菩薩像</p>	 <p>ほうりゅうじ 法隆寺</p>	 <p>しょうそういん 正倉院</p>	 <p>きんかく 金閣</p>	 <p>のう 能</p>	 <p>きょうげん 狂言</p>	 <p>ローマ字で書かれた へいけものがたり 平家物語</p>	 <p>こんぺいとう 金平糖</p>	 <p>カステラ</p>
 <p>しゃかさんぞんぞう 釈迦三尊像</p>	 <p>らでんしたんごげんびわ 螺鈿紫檀五弦琵琶</p>	 <p>るりのつき 瑠璃杯</p>	 <p>とうだいじんないもん 東大寺南大門</p>	 <p>うんけい 運慶 かいけい 快慶</p> <p>こんごうりきしぞう 金剛力士像</p>	 <p>ぎんかく 銀閣</p>	 <p>しょういんづくり 書院造</p>	 <p>ひめじじょう 姫路城</p>	<p>かのうえいとく 狩野永徳</p>  <p>からじしずびょうぶ 唐獅子図屏風</p>
 <p>にほんしよき 日本書紀</p>	 <p>あしゅらぞう 阿修羅像</p>	 <p>はくりのわん 白瑠璃碗</p>	<p>びわほうし 琵琶法師</p>  <p>へいけものがたり 平家物語</p>	<p>かものちょうめい 鴨長明</p>  <p>ほうじょうき 方丈記</p>	 <p>おとぎぞうし 御伽草子</p>	<p>せっしゅう 雪舟</p>  <p>すいぼくが 雪舟の水墨画</p>	 <p>おおさかじょう 大阪城</p>	<p>せんのりきゅう 千利休</p>  <p>千利休のわび茶</p>
<p>ひしかわものぶ 菱川師宣</p>  <p>見返り美人</p>	<p>ちかまつもんざえもん 近松門左衛門</p>  <p>にんぎょうじょうり 人形浄瑠璃</p>	<p>まつおばしょう 松尾芭蕉</p>  <p>おくの細道</p>	<p>おがたこうりん 尾形光琳</p>  <p>かきつばたずびょうぶ 燕子花図屏風</p>	<p>たわらやそうたつ 俵屋宗達</p>  <p>ふうじんらいじんずびょうぶ 風神雷神図屏風</p>	<p>いはらさいかく 井原西鶴</p>  <p>うきよぞうし 浮世草子</p>	 <p>こじき 古事記</p>	 <p>ふどき 風土記</p>	 <p>びょうどういんほうおうどう 平等院鳳凰堂</p>
<p>かつしかほくさい 葛飾北斎</p>  <p>ふがくさんじゅうろっけい 富嶽三十六景</p>	<p>うたがわひろしげ 歌川広重</p>  <p>とうかいどうごじゅうさんつぎ 東海道五十三次</p>	<p>いのうただたか 伊能忠敬</p>  <p>日本地図</p>	<p>じゅっぺんしゃいっく 十辺舎一九</p>  <p>とうかいどうちゅうひざくりげ 東海道中膝栗毛</p>	<p>たきざわばきん 滝沢馬琴</p>  <p>なんそうさとみはっけんでん 南総里見八犬伝</p>	 <p>まんようしゅう 万葉集</p>	 <p>かなもじ 仮名文字</p>	<p>せいしょうなごん 清少納言</p>  <p>まくらのそうし 枕草子</p>	 <p>こきんわかしゅう 古今和歌集</p>
<p>きたがわうたまろ 喜多川歌麿</p>  <p>ポッピンを吹く女</p>	<p>すぎたげんぱく 杉田玄白</p>  <p>かいたいしんしょ 解体新書</p>	<p>もとおりのりなが 本居宣長</p>  <p>こじきでん 古事記伝</p>	<p>よさぶそん 与謝蕪村</p>  <p>俳句</p>	 <p>しんこきんわかしゅう 新古今和歌集</p>	<p>けんこうほうし 兼好法師</p>  <p>つれづれぐさ 徒然草</p>	<p>むらさきしきぶ 紫式部</p>  <p>げんじものがたり 源氏物語</p>	 <p>しんでんづくり 寝殿造り</p>	<p>くや 空也</p>  <p>南無阿弥陀仏 浄土信仰</p>